

都市再生整備計画 事後評価シート
佐久平駅南地区

(素案)

令和5年12月

長野県 佐久市

様式2-1 評価結果のまとめ

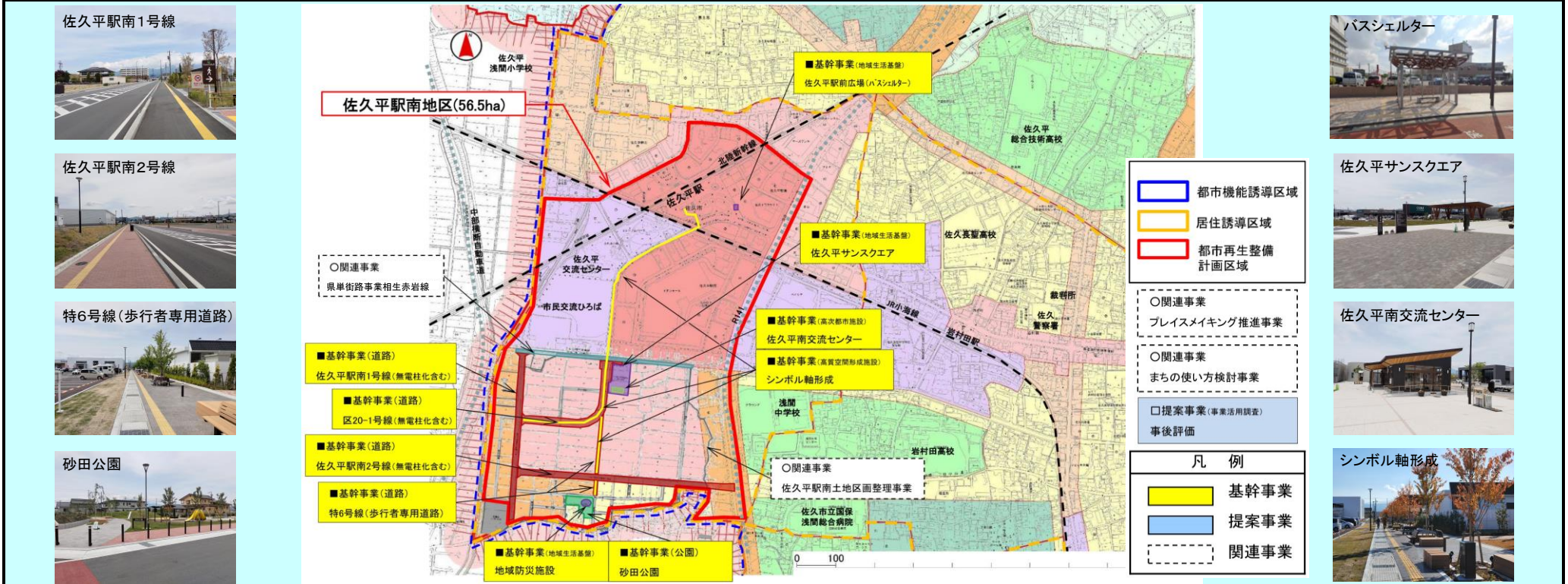
都道府県名	長野県	市町村名	佐久市		地区名	佐久平駅南地区		面積	56.5ha			
交付期間	平成29年度～令和4年度	事後評価実施時期	令和5年度		交付対象事業費	2,740.5百万円	国費率	0.490				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】佐久平駅南1号線、佐久平駅南2号線、区20-1号線、特6号線 【公園】砂田公園 【地域生活基盤施設】佐久平サンスクエア、地域防災施設(発電施設)、佐久平駅前広場(バスシェルター)、【高質空間形成施設(地域交流センター)】佐久平南交流センター									
		提案事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【地域生活基盤施設】横断歩道橋 【高質空間形成施設】エスカレーター	・バリアフリーの観点から既設の交差点(横断歩道)とすることとした。 ・佐久平駅周辺のあり方を含めた計画を検討するため実施時期が未定となった。			影響なし					
		提案事業	【地域創造支援事業】佐久の魅力マップ作成	・佐久平駅南地区全体の整備及び今後の活用方法を検討し、その内容に即した魅力マップの作成を一体的に行うため、削除した。			影響なし					
	新たに追加した事業	基幹事業	【高質空間形成施設】シンボル軸形成	・まちなみ整備方針により、シンボル軸と位置付け、歩道植栽に加え歩行者空間の高質化整備へ変更した。			影響あり 歩行者・自転車通行量を「目標を定量化する指標」として追加した。					
		提案事業	なし									
交付期間の変更	当初	平成29年度～平成33年度(令和3年度)	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	平成29年度～令和4年度										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	JR佐久平駅乗客数	人/日	2,937	H27	3,149	R4	2,641	×	あり なし	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、令和2年から地域間交流が制限されたため、鉄道利用者が大幅に減少した。しかし、令和5年に5類感染症へ移行し、経済活動や日常生活が以前の水準に戻りつつある。加えて、北陸新幹線の敦賀延伸(令和6年3月)が予定されていることや、住宅の建設が進むことにより新幹線利用者の増加が見込まれる。	令和6年8月
	指標2	佐久平駅南地区内人口	人	316	H28	360	R4	436	○	あり なし	集合住宅等が建築され、当該区域内の人口が増加した。今後も当該地区の住宅建設が見込まれることから人口が増えると見込まれる。	
指標3	歩行者・自転車数	人/12h	617	R1	717	R4	512	×	あり なし	新たに商業施設が出店しつつあるが、住宅や宿泊施設の建築とそれに伴う地域内人口の増加は今後生じると考える。加えて、植樹された木々はまだ小さく、夏期は遮陽効果が弱いことや猛暑が要因となり歩行者・自転車通行量は見込みより減少した。		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	佐久平南地区の歩行者・自転車通行量	人/12h	-			419				特6号線(歩行者専用道路)や区20-1号線、佐久平サンスクエアなどが整備され、佐久平駅の利用者、近隣住民や買い物来訪者等が散策路として通行がみられるようになった。	
	その他の数値指標2	佐久平サンスクエアでのイベント回数	回	-			20 (令和5年4月から10月)				佐久平サンスクエアが整備され、近隣の商業施設と連携したイベントが土日祝日を中心に開催されるようになった。	
	その他の数値指標3											
その他の数値指標4												
4) 定性的な効果発現状況	佐久平駅南地区の土地区画整理事業を行い、道路等公共施設の整備、宅地造成、多様な商業施設が立地し、佐久平駅南地区に“歩いて暮らせるまち”ができてきた。これらは、佐久市立地適正化計画にて設けた居住誘導区域内の人口増加につながっている。また、都市機能誘導区域としても日常生活に係る商業施設や公園・広場、交流施設が機能集積と充実につながっている。											

5) 実施過程の評価	実施内容	実施状況			今後の対応方針等
		都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	
	モニタリング	-	-	-	-
	官民連携による取組	樋橋地区まちづくり推進委員会 まちなみ整備方針公表+アンケート	-	-	-
	持続的なまちづくり体制の構築	-	-	-	-

様式2-2 地区の概要

佐久平駅南地区(長野県佐久市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 持続可能なまちの中核として、まち・ひと・しごとの好循環を生み出すまちづくりの形成を目指す。	JR佐久平駅乗客数	単位: 人/日	2,937	H27	3,149	R4	2,641	R4
目標①: 立地適正化計画の具現化に向けて、都市基盤整備による安全・快適なまちづくり	佐久平駅南地区内人口	単位: 人	316	H28	360	R4	436	R5
目標②: 環境にやさしく、健康的な生活が送れる生涯活躍のまちづくり	歩行者・自転車数	単位: 人/12h	617	R1	717	R4	512	R5
目標③: 佐久市の玄関口として、周辺施設と連携し、既存市街地から新市街地へ続く道路を軸とした「あるきたくなるまち」	(その他の指標①) 佐久平南地区の歩行者・自転車通行量	単位: 人/12h	-	-	-	-	419	R5
	(その他の指標②) 佐久平サンスクエアでのイベント回数	単位: 回	-	-	-	-	20	R5



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> スーパーやホームセンター、飲食店などの商業施設が立地し、地域の雇用が生まれた。 さらに、佐久市内の他周辺市町村から買い物客等が訪れ、新たな交流、賑わいが生まれつつある。 区20-1号線(夢佐久通り)や特6号線(歩行者専用道路)がシンボル軸として完成した。街路樹とベンチを多く配置し、近隣住民の散歩や買物等の来訪者の利用がみられる。 佐久平サンスクエア、砂田公園が完成し、来訪者や近隣住民、子育て世代が利用できる公園が整備された。 シンボル軸への植樹や佐久平サンスクエア、砂田公園の整備などの緑化を通じて、ゆとりのある居心地の良い空間を形成した。 砂田公園内のシェルター屋根に太陽光発電施設を設置した。緊急時の非常用電源として活用できる。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 官民一体となってシンボル軸や公園を中心としたまちを活用し、管理していくことを目指します。 区20-1号線(夢佐久通り)や佐久平サンスクエア、市民交流ひろば等を活用した集客イベントなどを広く開催し、賑わいの創出と市民や来訪者の交流を育みます。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標	●		未設定	佐久市の玄関口として、周辺施設と連携し、既存市街地から新市街地へ続く道路を軸とした「あるきたくなるまち」づくり。	佐久市の玄関口として、周辺施設と連携し、既存市街地から新市街地へと続く道をシンボル軸として形成し、「新たな人の流れ」や「新たな交流」を創出するため、人々の周遊や回遊性の向上を目指した。
B. 目標を定量化する指標	●		未設定	(目標追加) 歩行者・自転車数	佐久市の玄関口として、周辺施設と連携し、既存市街地から新市街地へと続く道をシンボル軸として形成し、「新たな人の流れ」や「新たな交流」を創出するため、人々の周遊や回遊性の向上を図ることから、その効果を測るべくシンボル軸の一角を成す、佐久駅蓼科口線での歩行者・自転車通行量の指標を追加した。
C. 目標値		●			
D. その他(交付期間の変更)	●		H29年度～R3年度	H29年度～R4年度	関連事業である土地区画整理事業の進捗により工事の着手が遅れ、計画期間内に事業を完了させることが困難となったため。

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	佐久平駅南1号線 (区16-1号線→佐久平駅南1号線)	604.4	L=417m	402	L=457m	土地区画整理事業の土地利用者が決まり、電線共同溝の整備延長が減工したため事業費が減額した。	影響なし	●	
道路	佐久平駅南2号線 (区16-2号線→佐久平駅南2号線)	805.1	L=530m	706.5	L=547.5m	土地区画整理事業の土地利用者が決まり、電線共同溝の整備延長が減工したため事業費が減額した。	影響なし	●	
道路	区20-1号線 (区21-1号線→区20-1号線)	509.3	L=314m	418.1	L=344.9m	土地区画整理事業の土地利用者が決まり、電線共同溝の整備延長が減工したため事業費が減額した。	影響なし	●	
道路	特6号線(歩行者専用道路) (区6-1号線→特6号線(歩行者専用道路))	139.6	L=390m	11.9	L=191.4m	回遊性を向上させるシンボル軸の一部として歩行交通ネットワークを担う役割が強くなったことから一体性を持たせるため市において施工することとなった。	影響なし	●	
公園	砂田公園	21.4	A=2,000㎡	125.3	A=2,400㎡	・住宅地の土地利用を考慮し、公園の配置等を変更した。 ・まちなみ整備方針に沿った整備内容が確定し事業費が増額した。	影響なし	●	
地域生活基盤施設	佐久平サンスクエア (みんなの広場→佐久平サンスクエア)	164.6	A=3,600㎡	590.8	A=4,000㎡	・樋橋地区まちづくり検討委員会の提言を考慮し、ひろばの規模を変更した。 ・まちなみ整備方針に沿った整備内容が確定し事業費が増額した。	影響なし	●	

地域生活基盤施設	地域防災施設 (発電施設)	27.1		1.3	太陽光1kw	・砂田公園の配置変更に伴い、地域防災施設の位置を変更した。 ・事業完了による清算の結果、事業費が減少した。	影響なし	●
地域生活基盤施設	佐久平駅前広場 (バスシェルター)	20.2	N=1基	22.0	N=1基	・事業完了による清算の結果、事業費が増加した。	影響なし	●
地域生活基盤施設	横断歩道橋	324.0	2基		削除	令和4年(第8回変更)にて削除。 バリアフリーの観点から、既設の交差点(横断歩道)とすることとした。	影響なし	
高質空間形成施設	シンボル軸形成 (歩道植栽→シンボル軸形成)	26.0	L=500m	419.2	L=996.3m	・まちなみ整備方針により、シンボル軸道路と位置付け、歩道植栽に加え歩道空間の高質化整備へ変更し、事業費が増加した。	影響あり 歩行者・自転車通行量を「目標を定量化する指標」として追加した。	●
高質空間形成施設	エスカレーター	708.3	エスカレーター 4基本		削除	令和4年(第8回変更)にて削除。 佐久平駅周辺のあり方を含めた計画を検討するため実施時期が未定となった。	影響なし	
高次都市施設 (地域交流センター)	佐久平南交流センター (佐久ビジターセンター→佐久平南交流センター)	80.5	A=200㎡	41.1	A=80㎡	・観光交流機能より、まちづかい拠点とし地域交流機能を整備することに変更した。 ・必要な機能について精査した結果、事業費が減少した。	影響なし	●

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
該当事業なし									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	佐久の魅力マップ作成	2				・令和3年(第7回変更)にて削除。 ・佐久平駅南地区全体の整備及び 今後の活用方法を検討し、その内 容に即した魅力マップの作成を一 体的に行うため、削除した。	影響なし		
事業活用調査	事後評価	2						●	
まちづくり 活動推進事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
佐久平駅南土地区画整理事業		佐久市岩村田字上樋橋ほか	3,187	3,379	平成29年度～令和4年度	平成29年度～令和5年度	令和4年9月に一部の商業施設が開業し、新たな賑わい拠点となっている。	
県単街路事業相生赤岩線		(都)相生赤岩線 佐久市 佐久平駅南					佐久平駅南土地区画整理事業に合わせて相生赤岩線の道路整備を行った。	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度		基準年度		基準年度	目標年度					あり	なし		
指標1	JR佐久平駅乗客数	人/日	『従前値』の計測方法と同様、JR東日本が公表している駅別の乗車人員を用いて北陸新幹線佐久平駅と小海線佐久平駅の合計数値を計測した。	-	2,937	H27	3,149	R4	モニタリング			モニタリング			●	
									事後評価	確定見込み	●	2,641	事後評価	×		
指標2	佐久平駅南地区内人口	人	『従前値』の計測方法と同様、住民基本台帳システムより集計した。	-	316	H28	360	R4	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定見込み	●	436	事後評価	○		
指標3	歩行者・自転車数	人/12h	『従前値』の計測方法と同様、佐久平駅周辺(既存市街地)2地点で12時間当たりの歩行者・自転車数を計測した。	-	617	R1	717	R4	モニタリング			モニタリング				●
									事後評価	確定見込み	●	512	事後評価	×		
指標4									モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定見込み			事後評価			
指標5									モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定見込み			事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、令和2年から地域間交流が制限されたため、鉄道利用者が大幅に減少した。しかし、令和5年に5類感染症へ移行し、経済活動や日常生活が以前の水準に戻りつつある。加えて、北陸新幹線の敦賀延伸(令和6年3月)が予定されていることや、住宅の建設が進むことにより新幹線利用者の増加が見込まれる。	新型コロナウイルス感染症の要因から行動制限などの影響が大きかった。大幅に利用が減少した時点で、目標値の見直しが必要だった。
指標2	集合住宅等が建築され、当該区域内の人口が増加した。今後も当該地区の住宅建設が見込まれることから人口が増えると見込まれる。	
指標3	新たに商業施設が出店しつつあるが、住宅や宿泊施設の建築とそれに伴う地域内人口の増加は今後生じると考える。加えて、植樹された木々はまだ小さく、夏期は遮陽効果が弱いことや猛暑が要因となり歩行者・自転車通行量は見込みより減少した。	
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○:評価値が目標値を上回った場合

△:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項(指標計測上の問題点、課題等)
			基準年度		基準年度						
その他の数値指標1	佐久平南地区の歩行者・自転車通行量	人/12h	佐久平駅南交差点で12時間当たりの歩行者・自転車数を計測した。			-		モニタリング		419	目標3で掲げた「あるきたくなるまち」づくりの整備効果の補完として、佐久平駅南地区の歩行者・自転車通行量を計測した。
								事後評価	確定 見込み		
その他の数値指標2	佐久平サンスクエアでのイベント回数	回	佐久平サンスクエアで催されたイベントの実施回数を計測			-		モニタリング		20	目標3『佐久市の玄関口として、周辺施設と連携し、既存市街地から新市街地へ続く道路を軸とした「あるきたくなるまち」を補完する指標として設けた。』
								事後評価	確定 見込み		
その他の数値指標3								モニタリング			
								事後評価	確定 見込み		
その他の数値指標4								モニタリング			
								事後評価	確定 見込み		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

佐久平駅南地区の土地区画整理事業を行い、道路等公共施設の整備、宅地造成、多様な商業施設が立地し、佐久平駅南地区に“歩いて暮らせるまち”ができつつある。これらは、佐久市立地適正化計画にて設けた居住誘導区域内の人口増加につながっている。また、都市機能誘導区域としても日常生活に係る商業施設や公園・広場、交流施設ができ機能集積と充実につながっている。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
樋橋地区まちづくり推進委員会	予定どおり実施した	【実施頻度】計5回 【実施時期】平成28年度～平成28年度 【実施結果】 樋橋地区の土地利用の公共性を考慮し、樋橋地区土地区画整理準備組合、各種団体関係者、関係行政機関、市民・団体等で構成した委員会を組織し、新しいまちづくりを進めるため、様々な視点から意見を交わし、樋橋地区の地区計画策定に向けて提言をまとめた。	提言をまとめ、委員会は解散した。
	予定はなかったが実施した ●		
	予定したが実施できなかった (理由)		
まちなみ整備方針公表+アンケート	予定どおり実施した	【実施時期】令和2年度 【実施結果】 佐久平駅南地区まちなみ整備方針を市民に公表し、アンケート調査を行い、まちなみ整備方針に対する情報発信と意見募集を行った。	アンケート結果を参考に、計画の修正、整備後の活用方法について検討を進めた。
	予定はなかったが実施した ●		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織	都市開発室、都市計画課	令和5年12月5日	建設部 都市開発室

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類別		指標2		指標		指標		指標	
指標名		佐久平駅南地区内の人口							
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	[道路] 佐久平駅南1号線	◎	集合住宅等が建築され、当該区域内の人口が増加した。今後も当該地区の住宅建設が見込まれることから人口が増えたと見込まれる。						
	[道路] 佐久平駅南2号線	◎							
	[道路] 区20-1号線	◎							
	[道路] 特6号線(歩行者専用道路)	◎							
	[公園] 砂田公園	◎							
	[地域生活基盤施設] 佐久平サンスクエア	◎							
	[地域生活基盤施設] 発電施設	○							
	[地域生活基盤施設] 佐久平駅前広場(バスシェルター)	-							
	[高質空間形成施設] シンボル軸形成	◎							
	[高次都市施設] 佐久平南交流センター	○							
提案事業	[事業活用調査] 事後評価	-							
関連事業	佐久平駅南土地区画整理事業	◎							
	県単街路事業相生赤岩線	○							

※指標改善への貢献度

- ◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	佐久市への移住、二地域居住希望者等へ広く情報発信するとともに、就業や創業への支援などを継続的に行い、人口の増加を目指す。			
-------	--	--	--	--

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		その他の数値指標1		その他の数値指標2		その他の数値指標3		その他の数値指標4	
指標名		佐久平南地区の歩行者・自転車通行量		佐久平サンスクエアでのイベント回数					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	[道路] 佐久平駅南1号線	-	特6号線(歩行者専用道路)や区20-1号線、佐久平サンスクエアなどが整備され、佐久平駅の利用者、近隣住民や買い物来訪者等が散策路として通行がみられるようになった。	○	佐久平サンスクエアが整備され、近隣の商業施設と連携したイベントが土日祝日を中心に開催されるようになった。				
	[道路] 佐久平駅南2号線	-		○					
	[道路] 区20-1号線	◎		◎					
	[道路] 特6号線(歩行者専用道路)	◎		◎					
	[公園] 砂田公園	○		-					
	[地域生活基盤施設] 佐久平サンスクエア	○		◎					
	[地域生活基盤施設] 発電施設	-		-					
	[地域生活基盤施設] 佐久平駅前広場(バスシェルター)	-		-					
	[高質空間形成施設] シンボル軸形成	◎		◎					
	[高次都市施設] 佐久平南交流センター	○		○					
提案事業	[事業活用調査] 事後評価	-		-					
関連事業	佐久平駅南土地区画整理事業	◎		◎					
	県単街路事業相生赤岩線	◎		◎					
		○		○					

※指標改善への貢献度

- ◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	佐久平サンスクエアを中心にイベント等を広く展開し、佐久平駅南地区への歩行者・自転車の流動(通行量)を増やし、一層の賑わい創出と、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかつくりを推進する。歩道内の施設を活用した官民連携による取り組みなどで通行量が増えることが期待される。	集客イベントなどを広く開催し、賑わいの創出と市民や来訪者の交流を育む。	
-------	--	-------------------------------------	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		指標1			指標3			指標〇			指標〇		
指標名		JR佐久平駅乗客数			佐久駅蓼科口線の歩行者・自転車通行量								
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	[道路] 佐久平駅南1号線	○	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、令和2年から地域間交流が制限されたため、鉄道利用者が大幅に減少した。しかし、令和5年に5類感染症へ移行し、経済活動や日常生活が以前の水準に戻りつつある。加えて、北陸新幹線の敦賀延伸(令和6年3月)が予定されていることや、住宅の建設が進むことにより新幹線利用者の増加が見込まれる。	Ⅲ	△	新たに商業施設が出店しつつあるが、住宅や宿泊施設の建築とそれに伴う地域内人口の増加は今後生じると考える。加えて、植樹された木々はまだ小さく、夏期は遮陽効果が弱いことや猛暑が要因となり歩行者・自転車通行量は見込みより減少した。	Ⅲ						
	[道路] 佐久平駅南2号線	○			-								
	[道路] 区20-1号線	○			△								
	[道路] 特6号線(歩行者専用道路)	△			-								
	[公園] 砂田公園	-			△								
	[地域生活基盤施設] 佐久平サンスクエア	-			-								
	[地域生活基盤施設] 発電施設	-			-								
	[地域生活基盤施設] 佐久平駅前広場(バスシェルター)	○			-								
	[高質空間形成施設] シンボル軸形成	△			-								
提案事業	[高次都市施設] 佐久平南交流センター	-											
	[事業活用調査] 事後評価	-											
関連事業	佐久平駅南土地区画整理事業	△			△								
	県単街路事業相生赤岩線	△			△								

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	北陸新幹線の敦賀延伸後も佐久平駅の停車本数確保に努めていく。駅周辺地区全体の官民連携による賑わいの創出と優れた住環境の形成を推進する。	佐久平駅南地区への住宅建築、人口の増加とともに、街路樹や広場の木々の成長による木陰の形成、桜の観賞等で、歩きたくなる・訪れたい空間の形成が期待される。歩道内の施設を活用した官民連携による取り組みなどで利用が増えることが期待される。	
------------------	---	---	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織	都市開発室、都市計画課	令和5年12月5日	建設部 都市開発室

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
・少子高齢化による人口減少社会に備え、佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実践及び、佐久市立地適正化計画において、都市機能誘導区域として位置付けられる佐久平駅1km圏域となる本地区は、“新たな仕事と雇用”“新たな人の流れ”“新たな交流”“新たな魅力”を生み出す地区としていくことが必要であり、人々の周遊や滞留を促す場づくりや仕組みづくりを求められている。	・スーパーやホームセンター、飲食店などの商業施設が立地し、地域の雇用が生まれた。 ・佐久市内の他周辺市町村から買い物客等が訪れ、新たな交流、賑わいが生まれつつある。	佐久平駅周辺では時代の経過とともに施設の老朽化や求められる機能の変化が見られる。	佐久平駅南地区の整備や商業施設等の建設により、歩行者・自転車と自動車の通行量が増えつつあり、歩行者横断路や信号機の設置について要望が寄せられている。
・子育て世代や、元気な高齢者の集積のために、安心・安全な環境整備の整った道路、公園整備が必要である。	・区20-1号線(夢佐久通り)や特6号線(歩行者専用道路)がシンボル軸として完成した。街路樹とベンチを多く配置し、近隣住民の散歩や買物等の来訪者の利用がみられる。 ・佐久平サンスクエア、砂田公園が完成し、来訪者や近隣住民、子育て世代が利用できる公園が整備された。	なし	佐久平駅周辺の公園・広場として、ミレニアムパーク、市民交流ひろば、佐久平サンスクエアが整備されたが、各施設の利用状況に差が生じている。 このため、各施設の役割(機能分担)について整理し、効果的な活用方法を検討する必要がある。
・居心地の良い空間づくりを通じてまちの賑わいを生み出していくため、地区に訪れる人々や関係者が「まちづかい」の拠点として集い、交流できる場所づくりが必要である。	佐久平サンスクエアが整備され、子育て世代の利用やイベント活用が行われ、市民や来訪者の交流が生まれている。	なし	なし
・環境に配慮したまちづくりとするため、佐久の特長である晴天率の高さを生かす太陽光発電施設や、自然の豊かさを感じられる緑化を進める必要がある。	・シンボル軸への植樹や佐久平サンスクエア、砂田公園の整備などの緑化を通じて、ゆとりのある居心地の良い空間を形成した。 ・砂田公園内のシェルター屋根に太陽光発電施設を設置した。緊急時の非常用電源として活用できる。	なし	なし

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	官民一体によるシンボル軸、公園の活用	官民一体となってシンボル軸や公園を中心としたまちを活用し、管理していくことを目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ■沿道事業者や居住者などによる地域交流の推進 ■官民一体による公共空間の維持管理
	イベント活用、市民や来訪者の交流促進	区20-1号線(夢佐久通り)や佐久平サンスクエア、市民交流ひろば等を活用した集客イベントの開催や、人々が集い憩える場の充実を進めることで、賑わいの創出と市民や来訪者の交流を育みます。	<ul style="list-style-type: none"> ■佐久平ハーフマラソン大会 ■近隣の商業施設と連携したイベントの開催

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	佐久平駅周辺の再整備について	駅利用者等の状況や意見を把握し、駅周辺に必要な機能を整理する必要がある。	■庁内や関係機関との協議・検討等
	佐久平駅周辺の公園・緑地の活用、機能分担の検討	公園・緑地の緑を守りつつ、憩いの場、交流の場として利用を推進する。公園・緑地の利活用方法について、地域住民等を交えつつ検討を行う。	■プレイスメイキング(居心地が良くにぎわいのある公共空間と地域の居場所づくり)
	歩行者横断路および信号機の設置について	現在の交通量では、歩行者横断路および信号機の設置要件を満たしていないが、今後も交通量の動向を注視しながら、必要に応じて道路管理者や警察と協議を行う。	■関係機関との検討協議

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み			予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	JR佐久平駅乗客数	人/日	2,937	H27	3,149	R4	確定 ●	見込み	2,641	×	あり ●	令和6年8月	従前地の計測方法と同様に東日本旅客鉄道株式会社が公開している「各駅の乗車人員」にて佐久平駅の乗車人員を計測する。	
指標2	佐久平駅南地区内人口	人	316	H28	360	R4	確定 ●	見込み	436	○	あり			
指標3	歩行者・自転車数	人/12h	617	R1	717	R4	確定 ●	見込み	512	×	あり ●			
指標4							確定	見込み			あり			
指標5							確定	見込み			あり			
その他の数値指標1	佐久平南地区の歩行者・自転車通行量	人/12h	-				確定 ●	見込み	419					
その他の数値指標2	佐久平サンスクエアでのイベント数	回	-				確定 ●	見込み	20 (令和5年4月から10月)					
その他の数値指標3							確定	見込み						
その他の数値指標4							確定	見込み						

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	・「佐久市立地適正化計画」におけるまちづくりの理念と整合の図られた目標を設定し、適切な都市機能誘導が図られた。	・事業計画の策定時に、事業メニューの利活用等を念頭においた目標設定を行う。 ・計画期間内に効果の計測ができない状況を極力避けるため、効果の発現の視点ばかりでなく、事業スケジュールも見据えた目標設定を行う必要がある。
	うまくいかなかった点	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大が要因となり、人の移動、経済活動が大きく制限されたことが大きかった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	・実施事業による整備効果として明確に測れる指標(人口増)を設けることができた。	・導入事業による直接整備効果が計られる目標設定が有効である。 ・様々な視点からの目標設定を行うことで事業効果を総合的に評価する必要がある。
	うまくいかなかった点	・新型コロナウイルス感染症による影響が大きく、事業途中で目標を見直す必要があった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・委員会やアンケートを通じて、計画段階から住民意向を組み入れながら事業化できた。	・今後も計画の立案から事業、活用について市民意向を取り入れる仕組みをいれていきたい。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

・今後、事後評価を予定する地区
野沢地区(令和2年度～令和6年度)、中込地区(令和4年度～令和8年度))において事後評価を実施予定。
当地区の事後評価の経験を踏まえて、円滑に事後評価を実施したい。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	佐久市公式ホームページに掲載	令和5年12月8日～12月22日	令和5年12月8日～12月22日	担当課窓口への郵便、FAX、Eメールなど	建設部 都市開発室
広報掲載・回覧・個別配布	市の広報に、原案公表を実施する旨を掲載	広報佐久 令和5年12月号	-		
説明会・ワークショップ	-	-	-		
その他	佐久市役所窓口での閲覧	令和5年12月8日～12月22日 (土・日・祝祭日は除く)	令和5年12月8日～12月22日 (土・日・祝祭日は除く)		

住民の意見	
-------	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	玉田 靖(信州大学繊維学部特任教授) 菊池 弘之(長野県建築士会佐久支部 顧問) 柳澤 正(佐久浅間農業協同組合常務理事) 市川 覚(佐久市農業委員会長) 阿部 眞一(佐久商工会議所 副会頭) 柳澤 本樹(佐久市区長会長)	第1回 令和5年12月 日 (整備状況説明)	建設部 都市開発室	既存組織を活用	佐久市都市計画審議会
その他の委員	小林 貴幸(佐久市議会議員) 清水 秀三郎(佐久市議会議員) 菊池 春美(市民代表) 関本 奈津子(市民代表) 佐々木 愛歌(市民代表) 浅田 みさ子(市民代表) 中島 久幸(市民代表) 及川 佳代(市民代表) 大瀬木 弘(佐久建設事務所長)	第2回 令和6年2月 日 (事後評価審議)			

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	
	成果の評価	
	実施過程の評価	
	効果発現要因の整理	
	事後評価原案の公表の妥当性	
	その他	
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	
	フォローアップ	
	その他	
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	
その他		

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考してください。